

家庭学習の手引き

令和3年度版

～学びの習慣をつけるために～

常磐小学校

本校では、教育のビジョンとして「確かな学力の定着」を
かけ、少人数指導や主体的に考えられる子どもを育てるた
めの授業改善に取り組んでいます。また、学びの習慣をつ
けるために、朝の学習タイム等を充実させ、基礎学力の定着・
向上にも取り組んでいます。

学校の授業だけでなく、家庭でも生活環境を整え、さら
に学習を積み重ねることで、学習内容がより確かに定着し、
学力が伸びていくと考えます。そこで、今年度も学びノート（自
主学習）を進めていきます。学びノートは、家庭での学習習慣がしっ
かり身につくように、低学年は週2日以上（1年生は10月ごろから）、
中学年は週3～4日以上、高学年は毎日取り組むことを目指して
いきます。



自主学習の良さ

宿題は、学校で出されたもののことをいい、自主学習は、子どもが自分で
内容を選び、自主的に取り組む学習のことをいいます。自主学習に取り組むねら
いとして、3つあげます。

①学習に主体的になる。

宿題は「教師に言われてする」と受け身になりがちですが、自主学習は自分で
内容を選ぶので、主体的になり、やる気が生まれます。自分で選び、考えら
れる、思慮の深さが生まれます。

②自己肯定感が高まる。

自主学習では、自分が考え努力したものがノートとして目に見える形として表
れます。自分の継続力に自信が生まれ、意欲が高まります。

③学習の習慣を身につけることができる。

自主学習カレンダーの活用により、内容や目標を決めて取り組み、学習した証
が増えていくことで継続する力を与え、学習習慣が確立されていきます。

子どもの時に新しいことを知ったり、調べたり、実験してみたりといった、
学ぶ楽しさをたくさん味わってほしい。そんな願いが自主学習の取り組みには
込められています。

この冊子を、お子様と一緒にみていただき、ぜひ、家庭学習の手助けとして
ご活用ください。

じどう
児童のみなさんへ

かていがくしゅう ほうほう 家庭学習の方法

じかん めやす がくねん ぶんいじょう
時間の目安は、学年×10分以上です。

かた すすめ方

- ① いえ ひと がくしゅう じかん き
家の人と学習 をする時間を決める。
- ② まず「しゅくだい」をする。さらに、つぎ と く
* けいさん かんじ いちど
* 計算ドリルや漢字ドリルをもう一度する。
* きょうかしょ ほん よ
* 教科書や本を読む。
* にっき どくしょかんそうぶん か
* 日記や読書感想文を書く。
* がっこう がくしゅう ないよう の - と いちどか
* 学校で学習した内容をノートをまとめたりもう一度書いたりする。
* おんがく ならったけんばんは - もにか りこ - だ - れんしゅう
* 音楽で習った鍵盤ハーモニカやリコーダーの練習をする。
* せかい くに どうぶつ しょくぶつ すかん いんた - ネット しら
* 世界の国や動物、植物のことを図鑑やインターネットで調べる。
* りか じっけん かていか なら つく
* 理科の実験したり、家庭科で習ったものを作ってみたりする。

つくえ む しゅうかん だいじ
「机に向かう」という習慣が大事です。

※ じっくりと落ち着いて本を読んだり、図鑑で調べたりすることも大切な

がくしゅうしゅうかん
学習習慣です。

※ がくしゅう お つぎ ひ じゅんび えんぴつ けす よていちょう
学習が終わったら、次の日の準備をしましょう。鉛筆を削り、予定帳

み じゅんびぶつ ととの
をよく見て準備物を整えましょう。

1・2年生

家庭での援助

◆いっしょにして、やる気をおこす◆

- 学習内容や方法をいっしょに決めたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。
- できたことをほめることによって、興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の予定などを確かめたり、声かけをしたりすることが大切です。
- 学習時間を決めて、毎日の宿題を最後まできちんとできるようにさせましょう。

余裕ができれば、こんな学習をすすめてください。

- 楽しかったことやうれしかったことを自分のことばで絵日記や日記に書く。
- 音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、動植物の観察をしたりする。

こんなことも学習につながる一つです。

- 子どもの生活経験を増やす。
 - * 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりする。
「今、何時？」 → 「今、4時20分」
- 遊びや「ゲーム感覚」を取り入れる。
 - * 10の補数をカードで取り合う。
「3」と言ったら、「7」のカードをとる。
 - * ボールを30回投げる。→ 「30」「29」・・・のように逆から数える。
 - * お風呂で温まっている時に、「九九」を言ったり、「100までの数」を「5」「10」「15」など、5とびで言ったりする。
(2とび、3とび、・・・9とびなどできます。)
- 親子で鉄棒やなわとびの練習をする。
- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。寝る前や朝でも結構ですので、時間が空いた時に(たとえ5分でも)、読み聞かせをしてあげることも大切なことです。



3・4年生

家庭での援助

◆認めて、ほめて、自信をつける◆

- あたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物の準備を自分できちんとできたかどうか確認したりするなどの手助けが必要です。
- 少しずつ自分でできるように支援していきましょう。

- 学習する場所を決め、整理整頓し、集中して学習が進められるようにしましょう。
- 学校からのお便りなどを親に手渡す習慣を付けましょう。

「自主学习参考例」をもとに自主学习をすすめてください。

- 苦手なところや計算や漢字の練習をする。
- 日記や作文など、書く機会を増やす。(できるだけ習った漢字を使う)
- 社会や理科などで学習したことについて、まとめたり、調べたりする。
- 音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカで、習った曲の練習をする。

こんなことも、学習につながる一つです。

- 子どもの生活経験を増やす。
 - * 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりする。
 - * 定規やものさしで家の中にあるものを一緒に測ってみる。
- 遊びや「ゲーム感覚」を取り入れる。
 - * はかりを使って、重さ比べをしてみる。手で持って予想をたててから、実際にはかってみる。
- 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をする。
 - * 一緒に公園に出かけたり、博物館や図書館などに行ったりする。



5・6年生

家庭での援助

◆見守って、伸ばす◆

- 「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自尊感情を育てるように、認めたり励ましたりすることが大切です。
- 目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

「自主学習参考例」をもとに自主学習をすすめてください。

- 自分で決めた学習や弱いと感じたところや興味をもった学習内容をすすんで勉強していくことが大切になります。
例えば、昆虫が好きな子は、昆虫のことを調べたり、歴史のことが好きな子は、ある歴史上の人物を調べたりすることも大切です。



こんなことも学習につながる一つです。

- 家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしましょう。
- 月の満ち欠けの様子や、季節によって変わる星空を観察する。
- ニュースで取り上げられている時事問題について家族で話す。
- 家の近くの野草の名前や性質を図鑑で調べる。

